

目標達成計画

作成日:平成31年3月8日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	(1)	平成14年事業所発足時の「理念」を継続して掲げており、定期的な見直しの機会は設けていないため、経年変化や時代の流れにあったものを検討する必要がある。	新年度に向け、職員の新体制ともなることから船員参画により、検討の場を設ける。	ミーティングの場において、現行の「理念」を見直し、継続を含め、新たな理念を掲げる。	12ヶ月
2	(2)	地域密着型としての事業所としての役割から、地域住民の方々から孤立することなく、交流に努めているが地震被害による安全性からナイストライの受入を中止せざるを得なくなっていた。	31年度には、ナイストライの受入れを行う。	近隣の中学校に受け入れの意思表示をし、31年度の計画に反映させる旨の返事をもらった。	12ヶ月
3	(7)	ミーティングや申し送りノート等で職員間の周知が図れているが、現場意見のまとめや、研修計画が恒常業務に埋もれた感があった。	研修計画を作成し、利用者に還元され、職員の質の向上に寄与する。	31年度研修計画を作成し、実践する。	12ヶ月
4	(11)	2名の訪問診療と6名のクリニック受診中であり、日ごろの体調やデータの提供をして、診療に役立てる必要がある。また、家族への適時適切な報告が必要である。	訪問診療時の事前報告、受診時の看護師ORケアマネジャーの同行により、血压データ等の受診支援を行う。	訪問診療:月2回の対応 受診 :月1回の対応 様態変化に伴う受診科の選定と受診対応	12ヶ月
5	(15)	調理については、日々、工夫をしているが、利用者の好みや、季節感のあるものなど、リクエスト等を加味した調理への取り組みをしていきたい。	献立の工夫を継続していく。 検食簿に次回の調理に活かせるコメントを記入する。	新年度から検食簿のフォーマットを変更し、スタッフがより書きやすいものに変更し、経過観察する。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。